



平成30年8月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング 上場取引所 東
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）柳井 正
 問合せ先責任者 （役職名）グループ上席執行役員 CFO （氏名）岡崎 健 TEL 03-6865-0050
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	617,026	16.7	113,901	28.6	117,832	13.1	84,646	14.9	78,540	12.7	95,515	△39.6
29年8月期第1四半期	528,847	1.6	88,591	16.7	104,204	34.2	73,698	44.1	69,695	45.1	158,048	224.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	770.11	768.99
29年8月期第1四半期	683.51	682.60

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第1四半期	1,633,058	842,990	806,281	49.4	7,905.74
29年8月期	1,388,486	762,043	731,770	52.7	7,175.35

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	175.00	—	175.00	350.00
30年8月期	—				
30年8月期（予想）		175.00	—	175.00	350.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	10.1	200,000	13.4	200,000	3.4	120,000	0.6	1,176.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年8月期1Q	106,073,656株	29年8月期	106,073,656株
30年8月期1Q	4,086,736株	29年8月期	4,089,664株
30年8月期1Q	101,985,476株	29年8月期1Q	101,966,443株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
3. 補足情報	15
(1) 部門別売上実績	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2017年9月1日～2017年11月30日）の連結業績は、売上収益が6,170億円（前年同期比16.7%増）、営業利益が1,139億円（同28.6%増）と、増収増益になりました。売上総利益率は前年同期比で0.2ポイント改善し、売上販管費比率は同1.7ポイント改善いたしました。11月末の為替レートが期初に比べて円安になったことから、外貨建資産などの換算額の増加も相まって、金融損益はネットで39億円のプラスとなっています。この結果、税引前四半期利益は1,178億円（同13.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が785億円（同12.7%増）と、増益になりました。セグメント別の業績としては、国内ユニクロ事業、海外ユニクロ事業、ジーユー事業、グローバルブランド事業の全ての事業セグメントにおいて、増収増益の結果となりました。

当社グループは、「情報製造小売業」として世界No. 1のアパレル小売企業となることを中期ビジョンに掲げ、中でも海外ユニクロ事業、ジーユー事業の拡大に注力しています。各国において、ユニクロの出店を継続すると同時に、世界主要都市にグローバル旗艦店、大型店を出店し、ユニクロブランドの更なるグローバル化を図っています。海外ユニクロ事業では、特に東南アジアは、グレーターチャイナ、韓国に次ぐ事業の柱として成長ステージに突入しています。また、ジーユー事業は、国内市場の出店に加え、グレーターチャイナを中心とした海外市場での事業の拡大も図っていきます。

なお、ジーユー事業は従来グローバルブランド事業に含まれておりましたが、連結業績に与える影響が大きくなったことから、当連結会計年度より独立した報告セグメントとして開示しており、前連結会計年度との比較については、変更後の報告セグメントに基づいております。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,570億円（前年同期比7.6%増）、営業利益は541億円（同18.6%増）と、増収増益になりました。Eコマース販売を含む既存店売上高は同8.4%増でした。

ヒートテック、ダウン、スウェット、メリノセーターなどのユニクロが強みとする秋冬商品の需要が強く、これらの商品の在庫をしっかりとった商売ができたことにより、好調な売上となりました。11月は「ユニクロ感謝祭」の販売も計画を大きく上回り、単月での売上は過去最高を更新いたしました。Eコマースの売上は同25.6%の増収で、売上構成比は7.0%へと上昇しました。為替の社内レートが円安傾向が続いていることで、原価率が上昇していますが、売上総利益率は、値引率が改善したため、前年同期比で0.2ポイントの低下にとどまっています。売上販管費比率は、特に広告宣伝費、物流費の大幅な削減が寄与し、同1.7ポイント改善しました。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,582億円（前年同期比31.4%増）、営業利益は466億円（同54.7%増）と、大幅な増収増益を達成しました。海外ユニクロ事業は着実に事業を拡大しており、この第1四半期の売上収益は、初めて国内ユニクロ事業の売上収益を超えました。エリア別では、特にグレーターチャイナ、韓国、東南アジア・オセアニアが引き続き大幅な増収増益となり、業績を牽引しています。グレーターチャイナ、韓国は前年に比べ、寒い秋冬シーズンとなったことから、特に防寒衣料の販売が好調でした。東南アジア・オセアニアは、常夏の気候に合った夏物商品が好調なことに加え、トラベル需要を捉えた冬物商品の販売が好調で、増収に寄与しました。また、赤字が継続していた米国は、この第1四半期では黒字に転じることができました。欧州も好調なフランス、ロシアの業績により、大幅な増益となりました。2017年9月にはスペインに初出店し、大成功を収めています。

[ジーユー事業]

ジーユー事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は608億円（前年同期比5.6%増）、営業利益は90億円（同31.8%増）と、増収増益になりました。9月はトレンド商品を中心に順調な立ち上がりとなったものの、10月以降は防寒衣料などの実需アイテムが少なかったことにより、第1四半期の既存店売上高は減収となりました。一方で、値引きのコントロールや経費削減により、営業利益は増益となりました。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は400億円（前年同期比13.8%増）、営業利益は30億円（同10.4%増）と、増収増益になりました。セオリー事業は増収増益、コントワー・デ・コトニエ事業は減益、プリンセス タム・タム事業およびJ Brand事業は前年並みの赤字となりました。

〔サステナビリティ（持続可能性）〕

当社グループの事業活動が拡大し、グローバル化している中、長期的な視点から、地球環境や社会のサステナビリティ（持続可能性）の実現を前提とするビジネスを推進してまいります。当社グループのサステナビリティに向けた取り組みは、「サプライチェーン」「商品」「店舗とコミュニティ」「従業員」の4つの重点領域で構成しております。これらの領域において、私たちは、透明性を確保し、説明責任を果たし、適時適切な情報開示に努めます。また独自のビジネスを通して、地球環境や社会の持続的な発展に貢献してまいります。

当社グループが積極的に推進しております「障がい者雇用」では、2017年8月末現在、16の国と地域において1,585名を雇用しております。

お客様からユニクロとジーユーの商品をお預かりし、服を必要とする人々に届ける「全商品リサイクル活動」では、2017年8月末現在、65の国と地域に累計2,558万点を寄贈しております。

2017年11月、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）のトップであるフィリップ・グランディ高等弁務官が当社を訪問し、柳井社長と難民への衣料支援、ロヒンギャ難民の現状、難民雇用などについて意見交換を行いました。引き続きUNHCRと当社は緊密な連携を取り合い、諸々の課題に適切に対応していくことを確認いたしました。

当社の事業活動の中で、素材の生産工程から生じる環境負荷は大きな部分を占めています。このため、当社はユニクロ商品の生産量の70%を担う主力素材工場と環境負荷低減プログラムを推進しています。これまで温室効果ガスなどの排出、排水、エネルギー使用、化学物質の使用などの環境テーマについて工場の取組み状況を継続的に評価してきました。この評価に基づき、2017年11月、中国及びベトナムにて、主力素材工場との環境負荷低減に向けた合意形成のセッションを実施いたしました。今後、合意された目標を達成すべく、主力素材工場とともに環境負荷低減に向けた活動に注力してまいります。

（2）連結財政状態に関する説明

（当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、資本の状況）

資産は、前連結会計年度末に比べ2,445億円増加し、1兆6,330億円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加1,050億円、売掛金及びその他の短期債権の増加814億円、棚卸資産の増加114億円、デリバティブ金融資産の増加83億円、その他の流動資産の増加369億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,636億円増加し、7,900億円となりました。これは主として、買掛金及びその他の短期債務の減少395億円、未払法人所得税の増加124億円、その他の流動負債の増加1,980億円等によるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ809億円増加し、8,429億円となりました。これは主として、利益剰余金の増加606億円、その他の資本の構成要素の増加100億円、非支配持分の増加64億円等によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第1四半期連結会計期間末に比べ、3,232億円増加し、7,888億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は、前第1四半期連結累計期間に比べ201億円増加し、1,200億円（前年同期比20.2%増）となりました。これは主として、売上債権の増加額808億円（前年同期比188億円増）、仕入債務の減少額436億円（前年同期比1,071億円減）、その他の資産の増加額406億円（前年同期比314億円増）、その他の負債の増加額1,990億円（前年同期比1,770億円増）等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ96億円減少し、53億円（前年同期比64.2%減）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出23億円（前年同期比79億円減）等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ30億円減少し、166億円（前年同期比15.4%減）となりました。これは主として、非支配持分からの払込みによる収入36億円（前年同期比36億円増）等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2017年10月12日付「平成29年8月期決算短信」で発表いたしました通期連結業績予想に変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2017年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	683,802	788,898
売掛金及びその他の短期債権	48,598	130,061
その他の短期金融資産	30,426	23,717
棚卸資産	289,675	301,150
デリバティブ金融資産	6,269	14,609
未収法人所得税	1,518	1,489
その他の流動資産	17,307	54,248
流動資産合計	1,077,598	1,314,176
非流動資産		
有形固定資産	136,979	139,690
のれん	15,885	15,885
無形資産	36,895	39,246
長期金融資産	77,608	79,978
持分法で会計処理されている投資	13,473	13,341
繰延税金資産	25,303	25,376
その他の非流動資産	4,742	5,364
非流動資産合計	310,888	318,881
資産合計	1,388,486	1,633,058
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	204,008	164,418
その他の短期金融負債	11,844	10,160
デリバティブ金融負債	6,083	6,878
未払法人所得税	25,864	38,275
引当金	27,889	18,640
その他の流動負債	35,731	233,784
流動負債合計	311,421	472,158
非流動負債		
長期金融負債	273,467	274,062
引当金（非流動）	15,409	15,875
繰延税金負債	10,000	11,308
その他の非流動負債	16,144	16,663
非流動負債合計	315,022	317,909
負債合計	626,443	790,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2017年11月30日)
資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	14,373	18,155
利益剰余金	698,584	759,276
自己株式	△15,563	△15,552
その他の資本の構成要素	24,102	34,127
親会社の所有者に帰属する持分	731,770	806,281
非支配持分	30,272	36,708
資本合計	762,043	842,990
負債及び資本合計	1,388,486	1,633,058

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
売上収益		528,847	617,026
売上原価		△258,160	△299,961
売上総利益		270,686	317,065
販売費及び一般管理費	2	△184,193	△204,226
その他収益	3	2,577	1,111
その他費用	3	△667	△221
持分法による投資利益		188	173
営業利益		88,591	113,901
金融収益	4	16,390	4,566
金融費用	4	△776	△635
税引前四半期利益		104,204	117,832
法人所得税費用		△30,506	△33,186
四半期利益		73,698	84,646
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		69,695	78,540
非支配持分		4,002	6,106
合計		73,698	84,646
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	5	683.51	770.11
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5	682.60	768.99

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
四半期利益	73,698	84,646
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産	47	△50
在外営業活動体の換算差額	21,182	7,143
キャッシュ・フロー・ヘッジ	63,120	3,775
その他の包括利益合計	84,350	10,868
四半期包括利益合計	158,048	95,515
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	151,581	88,565
非支配持分	6,467	6,950
四半期包括利益合計	158,048	95,515

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
2016年9月1日残高	10,273	13,070	613,974	△15,633	248	△2,811
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	69,695	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	47	19,982
四半期包括利益合計	—	—	69,695	—	47	19,982
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	117	—	15	—	—
剰余金の配当	—	—	△16,824	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,049	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,167	△16,824	15	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,167	52,871	15	47	19,982
2016年11月30日残高	10,273	14,237	666,845	△15,617	296	17,170

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の所 有者に帰属 する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計			
2016年9月1日残高	△44,619	△47,183	574,501	23,159	597,661
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	69,695	4,002	73,698
その他の包括利益	61,855	81,885	81,885	2,464	84,350
四半期包括利益合計	61,855	81,885	151,581	6,467	158,048
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	133	—	133
剰余金の配当	—	—	△16,824	△1,231	△18,055
株式報酬取引による増加	—	—	1,049	—	1,049
所有者との取引額合計	—	—	△15,641	△1,231	△16,873
連結累計期間中の変動額合計	61,855	81,885	135,939	5,236	141,175
2016年11月30日残高	17,235	34,702	710,441	28,395	738,836

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
2017年9月1日残高	10,273	14,373	698,584	△15,563	2	21,806
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	78,540	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△50	5,500
四半期包括利益合計	—	—	78,540	—	△50	5,500
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	92	—	11	—	—
剰余金の配当	—	—	△17,847	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,814	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持 分変動	—	1,874	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	3,782	△17,847	11	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	3,782	60,692	11	△50	5,500
2017年11月30日残高	10,273	18,155	759,276	△15,552	△47	27,307

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の所 有者に帰属 する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計			
2017年9月1日残高	2,293	24,102	731,770	30,272	762,043
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	78,540	6,106	84,646
その他の包括利益	4,574	10,025	10,025	843	10,868
四半期包括利益合計	4,574	10,025	88,565	6,950	95,515
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	103	—	103
剰余金の配当	—	—	△17,847	△2,269	△20,116
株式報酬取引による増加	—	—	1,814	—	1,814
支配継続子会社に対する持 分変動	—	—	1,874	1,754	3,629
所有者との取引額合計	—	—	△14,053	△514	△14,567
連結累計期間中の変動額合計	4,574	10,025	74,511	6,435	80,947
2017年11月30日残高	6,868	34,127	806,281	36,708	842,990

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	104,204	117,832
減価償却費及びその他の償却費	8,552	9,927
引当金の増減額 (△は減少)	△8,658	△9,721
受取利息及び受取配当金	△542	△1,741
支払利息	776	635
為替差損益 (△は益)	△15,672	△2,824
持分法による投資損益 (△は益)	△188	△173
固定資産除却損	213	100
売上債権の増減額 (△は増加)	△62,011	△80,878
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,656	△8,229
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,515	△43,619
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,154	△40,649
その他の負債の増減額 (△は減少)	22,025	199,029
その他	△835	258
小計	106,882	139,943
利息及び配当金の受取額	542	1,715
利息の支払額	△431	△303
法人税等の支払額	△7,107	△21,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,886	120,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,304	△2,348
定期預金の払出による収入	8,257	11,206
有形固定資産の取得による支出	△8,703	△7,940
無形資産の取得による支出	△3,216	△3,110
敷金及び保証金の増加による支出	△1,079	△1,490
敷金及び保証金の回収による収入	237	635
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△196	—
建設協力金の増加による支出	△420	△265
建設協力金の回収による収入	440	403
その他	△65	△2,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,049	△5,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	6,432	1,123
短期借入金の返済による支出	△7,664	△767
配当金の支払額	△16,791	△17,800
非支配持分からの払込みによる収入	—	3,629
リース債務の返済による支出	△1,338	△2,384
その他	△266	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,627	△16,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,051	7,030
現金及び現金同等物の増減額	80,260	105,096
現金及び現金同等物期首残高	385,431	683,802
現金及び現金同等物期末残高	465,691	788,898

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当第1四半期連結会計期間から、従来「グローバルブランド事業」に含まれていた「ジュー事業」については、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため独立し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

上記の変更により、当社グループでは衣料品販売を主たる事業として、「国内ユニクロ事業」「海外ユニクロ事業」「ジュー事業」「グローバルブランド事業」を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業（衣料品）

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業（衣料品）

ジュー事業：日本・海外で展開するジュー事業（衣料品）

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業（衣料品）

②セグメント収益及び業績に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2016年9月1日 至 2016年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内 ユニクロ 事業	海外 ユニクロ 事業	ジュー 事業	グローバル ブランド 事業				
売上収益	238,850	196,554	57,590	35,209	528,204	642	—	528,847
営業利益	45,613	30,167	6,837	2,744	85,363	46	3,181	88,591
セグメント利益 (税引前四半期利益)	48,150	30,472	6,814	2,716	88,153	46	16,005	104,204

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2017年9月1日 至 2017年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内 ユニクロ 事業	海外 ユニクロ 事業	ジュー 事業	グローバル ブランド 事業				
売上収益	257,068	258,283	60,815	40,052	616,218	808	—	617,026
営業利益	54,113	46,671	9,011	3,030	112,826	33	1,041	113,901
セグメント利益 (税引前四半期利益)	54,099	46,817	8,995	3,041	112,953	33	4,845	117,832

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	22,008	21,364
地代家賃	44,854	51,053
減価償却費及びその他の償却費	8,552	9,927
委託費	7,339	9,198
人件費	60,162	69,913
その他	41,275	42,768
合計	184,193	204,226

3. その他収益及びその他費用

その他収益及びその他費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
その他収益		
為替差益(注)	2,156	845
その他	420	265
合計	2,577	1,111

(注) 営業取引から発生した為替差益はその他収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
その他費用		
固定資産除却損	213	100
その他	453	121
合計	667	221

4. 金融収益及び金融費用

金融収益及び金融費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
金融収益		
為替差益 (注)	15,672	2,824
受取利息	542	1,741
その他	175	0
合計	16,390	4,566

(注) 営業取引以外から発生した為替差益は金融収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
金融費用		
支払利息	776	635
合計	776	635

5. 1株当たり情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	7,905.74
基本的1株当たり四半期利益 (円)	770.11
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	768.99

(注) 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)
基本的1株当たり四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	69,695	78,540
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株主に係る四半期利益 (百万円)	69,695	78,540
期中平均株式数 (株)	101,966,443	101,985,476
希薄化後1株当たり四半期利益		
四半期利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	136,413	148,315
(うち新株予約権)	(136,413)	(148,315)

6. 後発事象

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前第1四半期連結累計期間 自 2016年9月1日 至 2016年11月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2017年9月1日 至 2017年11月30日		(参考) 2017年8月期	
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	88,575	16.7	95,781	15.5	316,601	17.0
ウィメンズ	116,759	22.1	122,857	19.9	386,075	20.7
キッズ・ベビー	18,368	3.5	21,589	3.5	60,497	3.2
グッズ・その他	6,505	1.3	7,306	1.2	21,145	1.2
国内ユニクロ商品売上合計	230,209	43.6	247,534	40.1	784,320	42.1
F C 関連収入・補正費売上高	8,640	1.6	9,533	1.5	26,413	1.4
国内ユニクロ事業合計	238,850	45.2	257,068	41.6	810,734	43.5
海外ユニクロ事業	196,554	37.2	258,283	41.9	708,171	38.0
ユニクロ事業合計	435,404	82.4	515,351	83.5	1,518,905	81.5
ジーユー事業	57,590	10.9	60,815	9.9	199,139	10.7
グローバルブランド事業	35,209	6.7	40,052	6.5	141,003	7.6
その他事業	642	0.1	808	0.1	2,868	0.2
合計	528,847	100.0	617,026	100.0	1,861,917	100.0

- (注) 1 F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 ジーユー事業とは、「ジーユー」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 4 グローバルブランド事業は、セオリー事業(「Theory(セオリー)」、「PLST(プラステ)」ブランド等の衣料品販売事業)、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM.TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 5 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 6 上記金額には、消費税等は含まれておりません。